秘伝のタレは腐ってる

著者名	山本御稔	発行年	2009年
出版社名	日本経済新聞出版社	ページ数	243ページ
値段	1,500円	ISBN	4-532353742
コメント	おふざけに見えて、期待効用理論や割引率や、ツボはがっちり押さえてある。 アメリカンやイタリアンで胃もたれしそうな体調のときは、こちらのお茶漬けさらさらで済ませるのも悪くない。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
肉 ☆☆☆☆	面白かった。 内容は（この授業で扱われている）他の行動経済学と同じような感じ。 ただ、ちょいちょいギャグをはさんでくるので、まじめにこの分野のことを勉強したい人より、 ちょっと興味があるくらいの人の方がこの本を楽しいと思うかもしれない。あと「２の３乗は ちょっと考えなくてはもとまらないね」的な書き方をしているので「なめんなよ！」って思う人も いるかもしれません。			
	全部	243P (180分)		2010/02/15 01:00:33
くらしく ☆☆☆	ミクロ経済学で出た問題が載っていると聞いて読みました。 全く同じことが書いてありました。きっと教授が参考にしたのでしょう。 それなりの信頼度があると考えていいのでしょう。 ただし軽いノリが神経を逆撫でする本なので注意が必要です。			
	87-106	20P (30分)	同	2010/02/14 10:35:34
BLUE BLOOD ☆☆	題名は最高。だけどなかみはあえて読むほどでもなかったかな；			
	1-30	30P (20分)	なし	2010/01/30 21:25:00
thjam ☆☆☆	例では人間の思考は都合よくできていることにも感心しました			
	全部	243P (120分)		2009/12/11 02:22:41
ソロコフ ☆☆☆	経済が身近に感じられる本だなあと思った。 それとともに経済学って心理学との結びつきが強いのだなあと思った。			

	1-177	177P (150分)		2009/11/29 22:00:06

gpx ☆☆☆☆	説明するための例がかなり長く、凝っていて、わかりやすいと言えばわかりやすいが、読むのに時間がかかってしまう。 行動経済学の観点から説明していて、大学の講義でやっている経済学に比べて、心理学っぽかった。 ゲーム理論みたいに数式で考えていく、というのとは全然違い、とっつきにくい分野だなと思った。			
	全部	243P (240分)	55-86ページ	2009/11/09 23:54:50

ぴよ彦 ☆☆	タイトルの語感とセンスが気に入ったので借りてみたけど、物足りなさを感じた。普段数字にあまり関わりのない人なら楽しめるかもしれないが、経済学専攻の人や数字・確率に強い人にとっては既知、もしくはちょっと考えればわかるような情報ばかりで、特に読む必要はないと思う。			
	13-132	120P (80分)	なし	2009/10/19 06:49:59

jessy ☆☆☆☆	お金に関しての陥りやすい罠が分かりやすく、筆者のボケも交えつつ書かれていて非常に読みやすいです。私は「打率３割だが今まで10打数０安打のイチローにヒットは期待できるか？」という問いかけに対し間違った解答を選んでいました。ネタバレになってしまうのでここでは解答言えませんがm(_ _"m) みんな、ふざけながら経済学を学ぼう(o ´ ∀ ` o)！			
	全て	243P (150分)		2009/10/19 01:58:52

ＴＡＫＥ2ＧＵ ☆☆☆☆☆	様々な心理的要素と金銭感覚の関係などが面白おかしく書かれている。 確立や期待値ですべてが決まるわけじゃないと知った。 この本を読めばお金の使い方が変わる！！・・・かもしれません			
	1-230	230P (160分)	55-	2009/10/17 08:01:29

アルフ ☆☆	行動経済学についてなるべくおもしろく、軽く、というスタンスで書かれています。 取っ付きやすいのは確かですが、この分野にわりと触れていることもありだいぶ物足りなく感じてしまいました。			
	全部	243P (90分)	107-132	2009/10/12 19:49:38

ＴＯＰへ

大相撲の経済学

著者名	中島隆信	発行年	2008年
出版社名	ちくま文庫	ページ数	237ページ
値段	680円	ISBN	978-4480424280
コメント	相撲協会とは、これすなわち250年も続いている格闘技ビジネスのシステムなり。 実力主義なのに年功序列。神とも崇められているはずの貴重な横綱の給料はたった282万円。年寄株に八百長と数々の特殊性に彩られたこの相撲産業を経済学の視点で分析すると、さてどうなるか。 朝青龍がどうして品格がなくても平気でいられるのか、も分かります。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
Caporal ☆☆☆☆☆	私は相撲の力士の給料は勝った後に行司さんからもらえるアレだけだと思っていた。実は案外サラリーマンみたいな給料だったんだなあということがわかった。そして力士の行動に対するインセンティブや排他的な制度を知って、相撲ってすごい独特なスポーツなんだ！って思った。今の相撲は伝統破りの感があるが、それでも相撲を日本の国技であることをちょっと誇りに思う。			
	全部	270P (240分)	第二章	2010/02/14 03:33:00
gpx ☆☆☆☆	外国人力士のところだけ読みました。 今話題の朝青龍は今後どうなるのかなと思いました。 日本国籍を取得して年寄になったりするのかな？完全に弾かれてモンゴルで政治家になるのかな？ いずれにしても、野球選手とかに比べて儲からない仕事だということはわかりました。			
	147-165	19P (30分)	158-160	2010/02/13 07:47:54
くらしく ☆☆☆☆	割と楽しんで読みました。純粋に自分の知らない世界の仕組みを知るだけでも面白いかったです。 纏まりも良くてサクサク読めるのでお勧め度も高めです。 確かに「経済学」を語るには胡散臭さも満点ですが、疑いの目を持ちながら読む分には構わないと思います。			
	全部	237P (180分)	全般	2010/02/13 07:08:15
iwatobi-penguin ☆☆☆	相撲にもともと興味のない僕が読んでみましたがあまり読み進める意欲がわきませんでした。わざわざ相撲と経済を関連づける意味と目的が不明瞭のまま進むので相撲に興味ない人は別の本を読みましょう。			
	1-34	34P (60分)		2010/01/18 22:22:08

まじ ☆☆☆☆	相撲界の仕組みや構造がよくわかった。 大相撲をひとつの会社のように見立て様々な角度から相撲界を取り巻く問題を盛り込んで経済を分析している点は斬新だった。 相撲好きの筆者の強引と思えるような論理の展開は、相撲ファンの相撲界へのリアルな期待や不安な気持ちに感じられて、それはそれで良かったと思います。 相撲は日本の世界に誇れる文化だと再認識しました！			
	1-56,75-130,147-232	198P (200分)	75-130	2009/12/26 00:38:59

トム ☆☆☆	大相撲の世界では現役時代だけでなく、むしろ引退後の方が力士にとって大事であるということに驚いた。元横綱の曙が相撲協会を辞め、格闘家に転身したのはものすごくもったいなかったような気がした。			
	15-145	130P (100分)		2009/12/15 09:07:43

PO ☆☆☆	絶対になりたくない職業です。			
	全部	237P (150分)		2009/12/01 00:09:33

ぶるー ☆☆☆☆	日本の国技だけど私的にはあまりよくわからないスポーツ、相撲。 最近は朝青龍や暴力問題、薬物問題のことなどで話題になっていてあまりいい印象はなかったのですが、この本を読んで相撲業界も大変なんだな、と少し考え直しました。 スポーツをやる人間として八百長なんで許せない！と思っていましたが、なんだか深い事情がありそうですネ・・・			
	最初-P156	156P (120分)	第4章、第6章	2009/11/10 23:10:24

名無し ☆☆☆☆	相撲は日本の国技だけど、全然興味なかった。でもよくニュースで不祥事ばかり聞くから、相撲好きな人からしたら裏事情とかあるのかもと思って読んでみた。 これを読んで相撲界の裏側をいろいろ知れて意外とおもしろかった。朝青龍嫌いなんだけど、あの態度の理由とかね。			
	全部	237P (360分)	75-94	2009/11/06 02:17:04

thjam ☆☆☆☆	客観的であろうという姿勢と同時に筆者の相撲に対する愛情が伝わってきます。			
	21-133	112P (20分)	21-132	2009/11/05 01:06:40

日吉本町四丁目南 ☆☆☆	この講義の主旨に沿っているのだと思いますが、かなりぶつ切りにして読みました。 力士の給料は懸賞の本数だけなのかと思っていましたが、普通の給料もあるのですね。この給与形態は私にはとても合理的に感じました。しかし、４０までに引退をするのがほとんどのスポーツの世界だからこそ、通じる事なのでしょう。			
	21-55 75-94 111-122 147-165	86P (100分)	44-51	2009/10/27 07:00:46

ねりな ☆☆☆☆	確かに「相撲はスポーツですか？」と聞かれると(聞かれたことないけど)、「スポーツ･･･というか国技･･･つまり文化？」という回答をされる方は多いと思います。自分はそうです。 いったい相撲のどういった部分に、私たちは文化(≠スポーツ)的なものを見ているのか。それが分かったような気がしました。面白かったです。			
	15-35,57-72,95-164,223-232	106P (120分)		2009/10/27 00:03:48

アメフト３号 ☆☆☆☆	角界の裏事情がよく分かります。普段大相撲観戦をしているだけじゃわからない、年寄株の話や、力士の部屋の移籍の話、横綱審議委員会の謎など、相撲好きにはおススメです。			
	全部	237P (400分)	特になし	2009/10/22 10:56:39

つきもち ☆☆☆	大相撲はあんまり興味なかったけど、これを読んで見方が変わった気がします。 力士の給料、生活、食事、引退後・・・今まで知らなかった事実が次々と出てきて読みやすかったです。特に幕下以下は重労働な上、給料がないことにはびっくり！！			
	1-55,75-94	75P (120分)	75-94	2009/10/19 15:25:12

ＴＡＫＥ2ＧＵ ☆☆☆☆	今まで知らなかった力士の給料や、力士の引退後の話等がのっていておもしろかった 八百長は良く問題視されるが、この本を読むと八百長に対するイメージも変わるかもしれない			
	39-55,75-94,111-129,147-199	105P (90分)	111-	2009/10/17 08:10:47

Whatever ☆☆☆☆	題名には経済学とある訳だけど、とても読みやすい本だと思います。 スポーツの市場経済にさらされそうになりながらも、 伝統を失わずにその文化を守ってきた大相撲。 力士が身につける転用の効かない特殊性故に、 彼らが角界を去る時のリスクは、非常に高い。 角界はどのように彼らを守っているのか？ 合理性と歪を好角家である筆者が経済的視点から指摘し、 解決策を提案する。 角界を「会社」と喩える表現は様々な点で的を射ています。 背景を知れば、物事を理解しやすい。その典型だと思いました。			
	全部	237P (180分)	223～253	2009/10/10 13:07:48

ムーディーかまやつ ☆☆	著者は序章にて次のように宣言する。 「巷にあふれる”○○の経済学”のようなタイトルの書籍は所詮、業界の紹介本でしかない。私は正しく経済学を用い、本書を他の紹介本とは一線を画すものにしたい」（要約) 各トピックスについて著者が付け加えた経済学的考察はおおよそ退屈極まりない。ただ紹介すれば後は読み手（経済学のけの字も知らないような自分でも）が勝手に思うことをクドクド書かれるのだからたまったものではない。 ある部分ではほら会社みたいでしょ、と延べ、うまく合理性をつけられない部分については、相撲は伝統文化である（会社じゃないんだから）、とし、文化保護の観点から合理的なのだ、と結論する。『現代人にとって大相撲の価値は、異文化との遭遇であろう』と断ずる。そりゃバリバリ経済学の論文を読まされても困るが、こんな結論が先にあるような本を「これが経済学です！」と宣言していいものかしら…？ 紹介なら紹介で物足りず、経済学ならそれで物足りない。中途半端な印象が最後までぬぐいきれない本。			
	15-94,147-179,241-248p	121P (80分)	241-248p	2009/10/09 00:36:55

フィクサー ☆☆☆☆	この本を読むと大相撲をみる際感じていたであろうつっかかりがとれます。千代大海が2勝13敗かカド番で8勝7敗のような結果しか残せなくなっても引退しない理由、なぜカド番の時には千代大海は8勝できてしまうのか、つまり無気力相撲いわゆる八百長の存在とその存在理由もわかります。 また、付き人を5人も6人もつれて調子にのっていそうな白鵬が朝青龍と比べて褒められているのか、朝青龍があれだけ叩かれてもなぜ品格を身につけようとしないのか、などなど相撲界の特殊性が本当によくわかります。			
	全部	237P (240分)	111-144ページ、223-251ページ	2009/10/08 00:10:06

ＴＯＰへ

選挙の経済学

著者名	ブライアン・カプラン	発行年	2009年
出版社名	日経BP社	ページ数	396ページ
値段	2,400円	ISBN	4-822246099
コメント	学部生さんには、ちと手ごわすぎるかな（と挑発しときます）。 第三章だけでも覗いていただけるとうれしいです。「景気よくなると思う？」「今の税金って高すぎるかな？」などなど、一般人と経済学者に37コの同じ質問をして分析したユニークなアプローチ。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
くらしく ☆	序章を読んで、「なにこれよみにくい・・・・・・お勧めページだけ読んで終えよう」と思って見てみたらまさかのコメント０。 2，3ページの意味を全く感じない人名の羅列だけ印象に残っています。あとがきでいいのにわざわざ頭に置くからまた印象が悪いです、と。			
	1-11	11P (20分)	2-3ページ	2010/02/15 00:13:59

TOPへ

「みんなの意見」は案外正しい

著者名	ジェームズ・スロウィッキー	発行年	2006年
出版社名	角川書店	ページ数	276ページ
値段	1,600円	ISBN	4-7915068
コメント	シロウトに何が分かるんだ！ いやいやいやいや、シロウトも集団になると、専門家より賢かったりするんですよ。 ほんとかな？ まだまだ経験則を並べている段階といったところだけれど、交通渋滞、市場から民主主義まで、事例の広がりがとりえなので、どの章からでもつまみぐいをどうぞ。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
Mikey ☆☆☆	タイトル見て、序章読んで、「へぇ、そうなんだ」ってカンジ。 必ずしも、本当に「みんなの意見」が正しいのかは疑問。			
	7-40	34P (40分)	序章	2010/02/15 02:46:28
gpx ☆☆☆	へーそうなんだとしか思えませんでした。。。 集団の失敗はないだろうかと思い始めてしまいました。			
	1-40	40P (30分)	20-40	2010/02/13 07:23:01
名無し ☆☆☆	最初の章読んで、言われてみればその通りと思うところは多々あった。具体的な話はまたの機会に。			
	1-40	40P (60分)		2010/02/11 03:51:57
thjam ☆☆☆	みんなの意見を信頼しない読者にとって、 筆者の意見は斬新でした。			
	7-282	275P (60分)		2010/02/06 19:46:23
@ ☆☆☆	ぱらぱらめくっていたら、好きなサッカーの話が出てきている部分があったので、少し読んでみて、ついでに最初だけ読んでみました。図書館に入っているようだし、また読みたいです。時間なくて残念…！			
	はじめに、第6章	43P (30分)		2010/01/19 10:40:05

りょへ ☆☆☆☆	「烏合の衆」の知恵について、ここまで高邁な考察と深い示唆に富んだ分野に仕立て上げた著者の力量に脱帽です。 特に渋滞に関してはなるほどな、と思いました。 ただし、著者は、「烏合の衆」の判断が常に正しいと主張しているわけではなく、結果としてそうなる場合に対する摂理への驚異と科学的分析と畏怖の念を丁寧に考察している、という本で、日本語訳もかなりこなれていて、大変読みやすいです。			
	7-40,158-282	158P (180分)	最初	2009/12/06 02:09:43

肉 ☆	表紙の感じは良かったが、本文はバーッと書いてあって読みにくい印象。 最初の方を読んで「へー、そーなんだー」って感じでした。 ただ、続きを読む気にならなかった・・・			
	20-40	21P (30分)	目次	2009/10/25 11:43:58

jessy ☆☆	はじめの方だけ読めば、言いたいことが分かります。あとはそれを例にまじえて永遠と書いてある感じがした。要するに同じことが言いたいんじゃないの？って思えてきちゃってやめちゃった。でも最後１５ページ読んだら、最初の方と違うアプローチの仕方だったから懲りずに読めばもっと色々学べたのかな。 でもね、本の帯に書いてある「衆人の知恵の発想を知るだけで、意思決定のしかたが変わる」っておおげさよ！！			
	1-98 267-282	114P (200分)	はじめ30ページ	2009/10/24 22:44:31

ＴＯＰへ

コークの味は国ごとに違うべきか

著者名	パンカジ・ゲマワット	発行年	2009年
出版社名		ページ数	399ページ
値段	1,905円	ISBN	4-163713700
コメント	グローバル化？ だめだよ、そんな夢物語に踊っちゃ、企業経営は成り立ちません。 TOYOTA に DELL に WAL-MART。おなじみ企業の経営戦略を題材に、コンサル業務がてきぱきと展開されてまいります。 どうすれば儲かるかを分析するなんて、学問的にはちょっとねえ、どうせ全部結果論じゃないの？ と思っていたけれど、そして、その思いが完全に払拭されたわけではないけれど、どうしてどうして、これは「人の欲」という人類共通の衝動を題材に、異文化とか国境とか、つまりはなんで人類がこんなにバラバラなのか、を問い返す営みとして読めそうです。 そして、そんなふうに読めば、深いところまで行けるでしょう。たぶん、きっと。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
BLUE BLOOD ☆☆☆	コーラが好きなので手にとりました。グローバル化で世界は情報でつながったように見えるけど実際は、お互いの違いを際立たせただけかもしれません。			
	6 1 －205	145P (70分)		2009/12/15 12:31:48
ＴＡＫＥ2ＧＵ ☆☆☆	今や世界中がグローバル化して色々便利になったと思っていたが、この本を読むとそうでもないということに気付かされた。			
	24-60	36P (20分)		2009/11/12 08:22:46
march ☆☆☆	タイトルと各章の章題からして読みやすそうな本。しかし、少し読みづらかった。でも、理解できるとためになるかも。各章の後ろにポイントだけ乗ってるので、そこを読み、わかんなかったら、本文で確認するといいかも。			
	105-163	59P (40分)	163	2009/10/14 13:54:00
くらしく ☆☆	経営に興味があったので手を取ったのですが、個人的にはハマりませんでした。 コカ・コーラ社やトヨタなど有名企業の実例が分かりやすく載っているのでそこだけ読んで、筆者の主張は各章のまとめで済ませました。 世界進出規模までの経営に興味があるならハマるかも知れません。			
	36-60ページ、197-205			

	ページ	33P (30分)	36-	2009/10/14 12:39:23

TOPへ

急に売れ始めるにはワケがある

著者名	マルコム・グラッドウェル	発行年	2007年
出版社名	ソフトバンク文庫	ページ数	336ページ
値段	780円	ISBN	4-797338126
コメント	ティッピング・ポイント――初耳ですよね、たぶん。 少数者の法則、粘りの要素、背景の力。この３原則から成り立ちます。覚えた？ マーケティングを論じているようにみえて、社会変革はどう起きるか（むしろ、どう「起こす」か）まで射程に入っているところが、さすがタダモノではありませぬ。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
ten ☆☆☆	ティッピング・ポイント、確かに初耳でした。 経済行動に限らず、人間の社会行動が一気に加速する「一点」が存在する、またその「一点」に至らしめるための3つの要素というものがある、という主張を、全編にわたって事例を交えながら紹介している本。 授業で取り扱った『アイデアの力』の作者もこの中の「粘りの要素」のアイディアにヒントを得ている、らしいです。 自分を含め、マーケティングや社会学全般に興味のある人にとっては面白い内容なのではないでしょうか。			
	全部	336P (140分)	12-46、338-346	2010/02/15 02:51:49
NIKI ☆☆	父が自営業でパン屋を営業しているので、経営においてどうやったら急に売れ始めるのか気になってこの本を手にとってみた。犯罪においての背景というのはわかったが、経営においての背景の力を読む前に飽きてしまった。			
	184－221	38P (20分)		2010/02/15 01:56:41
thjam ☆☆☆	些細な変更や工夫によって、大きな成果を生むことが出来る可能性があるらしい			
	1-357	357P (180分)		2010/02/06 20:38:25
trick ☆☆	売れたくて手に取ったけど、そう簡単に応用できそうではない… なんていうかタイトルは「急に売れ始めたのにはワケがあった」の方が正しいような。 窓が割れていると犯罪率が上がるのはわかるけど… 心理実験みたいなのをあまり信用してないからでしょうか。			

	1-97	97P (50分)		2010/02/01 01:37:19

BLUE BLOOD ☆☆☆	爆発的なヒットを飛ばすには。 やはりただ作るだけではいけないんですね。ヒットには人の力の作用が大きいです。人のリアクションを起こさせることが大事なんですね。			
	1-50	50P (30分)	もくじ	2010/01/30 21:18:27

りょへ ☆☆☆☆	ハッシュパピー。それは僕が本当に愛している靴の会社である。ダンスシューズとしてダンス界では有名なブランドである。 この本の目次を覗いたとき、ハッシュパピーという文字がはじめに書かれているのをみて、やっと認めるやつが多くなってきたんだなと思って即借りた。 なるほどそういう風に人気になったのか、日本でブレイクする時も近いなと思った。 やっべ、パピーについての説明になってしまった。。 要するに売れ始めるきっかけとはほんの少しのきっかけなんだと気づいた。いい本ですよ。 終わり。			
	いろいろちょこちょこと	30P (15分)	ハッシュパピー	2010/01/21 23:53:43

ねりな ☆☆☆☆	あるとき堰を切ったように人々が同じ行動をする。過程をたどってみると、原因は意外と小さなこと、という驚きを書いた本でしょうか。 一般に応用できそうな、というかしたくなる考えだと思いました。			
	12-26,33-46,292-347	85P (120分)		2010/01/11 23:39:30

アメフト３号 ☆☆☆☆	いろいろな事例、心理学実験の結果が書いてあり、とても面白い。 特に面白かったのは、人間は背景の力の影響があるとい章で、その心理実験例が興味深かった。 本の題名はあまり内容全体にマッチしていなかったように思えるけど。。			
	12-357	346P (200分)	184-228	2009/11/23 18:13:57

アメフト4号 ☆☆	さまざまな事実と照らし合わせながら、どのように口コミが広がっていくのかを説明している。文字数が多く、難しく感じたので斜め読みした。			
	最初のほう	50P (60分)		2009/11/16 21:56:15

gpx ☆	４６ページ以降は４６ページ以前までの詳しい説明みたいだったのでだったので読むのをやめました。 なるほどとは思ったけど、興味がわきませんでした。			
	1-46	46P (60分)	1-46	2009/11/10 00:16:06

ＴＡＫＥ2ＧＵ ☆☆☆	ティッピング・ポイントを、殺人やテレビ番組等様々な視点から考察していて面白かったが、理論の展開に少し疑問が残った。 もう少し掘り下げて説明すれば、もう少し説得力があるかもしれない。 特に、「感情が外から内へ」というのは、今まで考えたこともなく、興味深かった。			
	1-289	289P (180分)	105-	2009/10/10 15:38:42

ＴＯＰへ

透明人間の買いもの

著者名	指南役	発行年	2007年
出版社名	扶桑社	ページ数	195ページ
値段	1,300円	ISBN	4-594055097
コメント	あなたは目立ちたがり？ でなかったら、この本の事例のあれこれに、うんあるある、と膝を打てることでしょう。ホイチョイっぽいかも、なライトなつくりです。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
ten ☆☆☆	共感できる部分と出来ない部分、半々くらいかな？サイレントであれど完全なマジョリティではないらしい自分も半分透明人間ってことになるんでしょうかね。 「あるある」とか「ねーよ」とか思いながらサクッと読めました。			
	全部	195P (50分)		2010/02/15 04:47:42
ぶるー ☆☆☆	この本を読んで、自分が透明人間だったことに気づきました！ っていうのが透明人間の意見なのかな。 私は意外と当てはまらないものがあったり。 ホントにかるーい本だけど、途中まで読んで少し飽きてしまいました。 けど日本人は透明人間じゃないと、友達できなく・・・ねぇ？笑 やっぱり共感できてなかったのか!? 透明人間じゃないのか!? それは、はたして（日本に住んでる自分にとって）いいことなのか...な？			
	1-120	120P (60分)	目次で気になったところ！	2010/02/13 10:31:39
とんぺい ☆☆☆☆☆	そっかぁ… 俺って透明人間なんだ。 確かに「好きなタイプは？」って聞かれた時の答えはコロコロ変わってもミーハーどころはあげないし、正直ポニョは何がいいのか全くわからん。CDも全く買ってない。 やっぱり透明人間か・・・ この本なんか悔しいけどふつーに面白いんだよね。			
	全部	195P (120分)	どこでもつまんじゃ	2010/02/06 01:01:39

			え！	

黒鳥 ☆☆☆	「透明人間」それは私たちのようなサイレントマジョリティーのこと。 この本・・・正直ウザい（笑 とても腹が立ちました。 でも当たってるんだろな。。と思うとさらに腹が立つ。 何だろう、受験勉強のときに「成績悪いんだから、TVなんて見てないで勉強しなさい！！」って親に言われる感じ？？ 本質をとらえてるんだけどさぁ・・・言われると腹立つんだよね。 要はそれでもおれは「ジブリ好きだよ！！」 アシタカかっこいいし、ハクだって相当いい男だよ。勝てる気しないわ。。 でも、斜め読みするには最適な本です。乱読には向いてるよ。45分で読めたもん。 ウザいけど、読みやすいから星３つデス！！			
	16-205	190P (45分)	80-82	2010/01/30 12:29:59

jessy ☆☆☆	まず１番はじめの「最近の宮崎駿は正直微妙」がどんぴしゃだった（笑 この本Fisrt impression完璧！笑 うんうん、とうなずきながらもこの本にちょっとでも反抗できるところを見つけようとしてる私は、透明人間そのものなのかなあ。。。 就活までには透明人間脱出しなきゃ！！！			
	全部	190P (60分)	目次から惹かれるところをどうぞ	2010/01/27 09:29:51

りょへ ☆☆☆☆	あーまぁ確かにそーなるときもあるわな、でもまぁそれはそれでいいんじゃねーの？ この本を読みながら感じた感想。 なんか今まで固くて理詰めの本を読んでいたせいか、この本の軽さに逆にびっくりしたくらいです。誰かが書いてましたがページ稼ぎにはいいのかも、と思ってしまうような本でした、嫌いじゃないですけど。笑			
	いろいろ	50P (60分)		2010/01/27 02:08:12

ぷりぷり ☆☆☆	ただ読みやすかった。 テーマだけを読んで気になるところだけじっくり読んだ。 うんうんと思うこともおおかったが、それは違うなーと思ったこともあったので星３つです。			
	202ページ	202P (40分)		2010/01/22 17:01:15

harry ☆☆☆☆☆	1章以外はまとめだけ読んだ。 自分は案外目立ちたがりなので、当てはまらない部分と当てはまる部分が半々くらいだった。 てことは半分ぐらい透けてるってことに…			
	1-23	23P (15分)	各章まとめ	2010/01/09 13:25:03

TD ☆☆☆☆	読みやすくて、暇つぶしにはもってこいの本だった。 なるほどというものから、首をかしげたくなるものまで様々だったが、「自分はこうじゃないぞ」とむきになって考えている時点で作者の思うつぼなんだろうなと思った。			
	全部	195P (100分)	全部	2010/01/01 13:52:08

ＴＡＫＥ2ＧＵ ☆☆	あるあるネタだと聞いて楽しみにして読んだが、全然当て嵌まらなかった 俺は透明人間じゃないようです			
	全部	205P (120分)	特になし	2009/12/16 09:09:14

日吉本町四丁目南 ☆☆☆	私もそこらにいるような凡人なので、透明人間に共感できるところもあったが、共感できないところも多々あった。 だから、どんな人間でも透明人間の部分も持ってるし、マイノリティーな部分も持っている、半透明人間のではないかと感じた。キムタクもオダギリジョーも妻夫木もヨン様も半透明人間であるに違いない。 そう考えたら、どんな面においても透明人間の方がマジョリティーになるけど、おのおのの面において、透明人間の構成人員は全く違ってくるのだということで説明がつくと思う。 個人的には、「今日も全国のカラオケボックスのどこかで、彼女たちがハモっている。ブレーキランプ５回点滅―――。」に思わず笑ってしまった。			
	全部	195P (180分)	45・46ページ	2009/12/15 11:10:45

つきもち ☆☆☆☆☆	おれって透明人間なのか！と気づかされました。どれもこれもあてはまる・・・特に電車に間に合わなかった時のあの絶望感！！あれどうしても後悔しちゃうんだよなぁww なんか世の中のからくりみたいなものが見えたような気がする本です。こういうの読むと自分はこうならないようになりたいと燃えるのは自分だけかな？			
	全部	195P (120分)	どこもおすすめ	2009/12/09 01:02:46

hana ☆☆☆	とても興味深かったです。 ただ、ちょっと主観的で内容も浅めかなと思いました。 でも、「透明人間」というひとつのマーケット、あるいは社会の解釈の仕方を知ることができた点では、有益だったかなと思います。 なんとなくとっていた自分の行動の理由も、指摘されてみて結構納得してしまうものもありました。			
	全部	195P (75分)	184-202	2009/12/02 22:19:11

NIKI ☆☆☆☆	まず面白かった。最後の一言「透明人間は消費の真の主役であり、本当は透明人間でも何もない」ってフレーズに最後まで引き込まれて読み終えた感じがした。なるほど、と共感できる部分も多く、でも逆に私は透明人間じゃないんだって思える部分も多くてちょっぴりうれしかった。そして、中高と変な独特な環境で育ってきたので、周りは基本的に透明じゃなくどちらかといえば個性的で自分というものを持った人たちだったので、周りによっても変わるんだろうな、と思った。一番なるほどと思ったのが宮沢りえの話で、私は宝塚が好きで、ある男役の人が好きだったのだが、その人が辞めて女優になると、私の友達のファンの中には、女でなく男役のかっこいい感じが好きだったといってファンを離れて行った人たちがいる。初期の姿を引きずるとは、こういう事なのだと思った。			
	33-202	170P (120分)		2009/12/01 10:14:02

ＭＩＡ！ ☆☆☆	宮崎アニメを微妙だと思ってること。 シングルＣＤを買ってないこと。 ディズニーランドスキ。 以外あんまり納得いかなかったです。 蒼井優と自分を重ねません。 読みやすかったのでページ稼ぎになりました。			
	1-205	205P (90分)		2009/12/01 00:02:22

トム ☆☆☆☆	透明人間（自分も）が、普段なんとなく感じていることを的確に表しており、読んでいて面白かった。 実際、自分はかなり共感できたので、典型的な透明人間なのかもしれない。 難しい本に飽きたときの息抜き本としておすすめ。			

	全部	195P (80分)		2009/11/30 00:41:26

ぴよ彦 ☆☆☆	世間で話題にでない一般人＝透明人間のあるあるネタ。 内容は薄く、マーケティングを学びたい人にはお勧めできない。 どちらかというと実際に企業でマケティングに関わっていて、且つ時間がない人向き。			
	全部	195P (90分)	特になし	2009/11/24 06:09:35

リリー・アリゾナ ☆☆☆	あるあるネタが結構あって楽しめました。ただあんまり教訓になるような話はないと思います。まあ何も考えずに読めるので息抜きにはちょうどいいかも。　ノン　がところどころに出てきて少しイラっとした。イタリア人気取りか(笑)			
	全部	200P (80分)		2009/11/13 23:42:37

くま ☆	全部は読んでみましたが、内容が薄いです。だから何？とか、ほんとにそんな人いるの？って思いました。透明人間、東工大生にはあんまりいないと思います。 東工大生って自分のこだわりを持ってる人が多いですからね。 しかし、ページ稼ぎにはお勧め（その意味では読んでもいいんじゃないかと思います。）			
	全部	200P (80分)	なし	2009/11/05 19:30:20

puzdog ☆☆☆☆	一般大衆を対象にした性格診断見たいな感じ。ただし診断結果だけでなくそれに対する教訓も書かれていてhow to本としても面白い。自分を含め一般大衆が何を考え、どう行動するのかを深く考えさせられる本。			
	全部	200P (100分)		2009/11/04 11:16:46

肉 ☆☆☆☆	途中に絵が結構あり、読みやすかった！ 「なるほど！」という発見よりも、「あるある！」という共感を得る。個人的には「就活時の様子」を表したところが「わかるわかる」って感じでした。			
	全部	205P (120分)	?	2009/10/25 11:34:36

@ ☆☆☆☆	軽くて、あっさり読める本だと思います。 立ち読みポイントにあげたページは、東工大女子を勇気付けるものだと思います。 いくつか納得できる部分はあったけれど、私は透明人間ではないな、と思いました(笑)悪目立ちしているってこと…！？			
	全部	205P (120分)	50-61ページ	2009/10/24 23:42:59

フィクサー ☆☆☆	確かに!と思える話が結構あって楽しめました。でも、自分はマーケティングがよくわかる感じの本だと思って読み始めたのですが、ジャンル的には血液型自分説明書シリーズみたいなタイプでした。なので予想よりもだいぶ内容が薄かったのが残念でした。他の本と一緒に借りて、難しい方の本に疲れたらこっちを読むくらいでもいけると思います。 立ち読みポイントのところはとても面白いのでぜひ読んでほしいです。			
	全部	195P (90分)	p148-p157	2009/10/24 23:31:24

Mikey ☆☆☆	とりあえず、装丁がカワイイ！あと、とても読みやすい！ 共感できるところとできないところが同じくらいあったけれど、どれも着眼点が面白いと思った。 妻夫木聡と蒼井優のところは、特に「あるある」と思った。 文章も簡単だから、あっさり読むのには適していた。			

	全部	195P (100分)	5,11,14章	2009/10/20 22:04:24

くらしく ☆☆☆	よくある、あるある本です。 あるあるネタは皆好き、という自身に書かれたことを実践している本です。 正直確かに中身はないのですが、立ち読みポイントの部分は興味深いです。			
	全部	195P (120分)	152-154	2009/10/19 23:02:23

アメフト３号 ☆☆	われわれ一般大衆をひっくるめて‘透明人間’と呼んでいるこの本。内容的にはあまり中身のある本では内容に思われ、個人的にはあまり面白くなかった。			
	全部	195P (100分)	特になし	2009/10/19 22:58:13

ざわ ☆☆☆☆☆	あ、自分は透明人間だ…と1章も読み終わる前に思いました(笑) 「大勢の前では自分の本心を明かせない」「大勢に紛れたい」「選ぶのが苦手、選択の余地がないはむしろ幸せ」などなど。 そうそう!!と納得いく話ばかりでした。 透明人間の分析をよくできてる、おもしろい本です。			
	全部	195P (90分)		2009/10/18 23:39:56

ＴＯＰへ

任天堂 “驚き”を生む方程式

著者名	井上 理	発行年	2009年
出版社名	日本経済新聞出版社	ページ数	288ページ
値段	1,700円	ISBN	4-532314637
コメント	人生のたくさんの時間をお世話になってきた、いやたぶん今もお世話になりつつあるゲームの世界のお話。 京都の花札屋がいかにして世界制覇を成し遂げたか？ なんてまとめると、ありがちサクセスストーリーっぽく聞こえるけれど、どうしてどうして、この会社はタダモノではない。「最先端じゃなくてイイ、枯れた技術でじゅうぶん」「僕らは役に立たないモノを作ってる」、経験に裏打ちされたスゴイ言葉がぽんぽん飛び出してくる。数時間のインタビューをお手軽にまとめたのとは底力の違う、取材の手あつさがあってこそだろう。気合いの入ったルポルタージュである。 そして何より、社長の岩田さんが我らが東工大の大先輩だってことに、アツくなれる……はず！		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
ten ☆☆☆☆	べた褒めしすぎっ！と思いながらも、任天堂のゲームメーカーとしての姿勢は確かにすばらしいと思えた。 ちなみに我が家では両親と私と2個上の姉、全員がwiiで遊んでますよ。なかなか良い家族団欒の機会です。			
	7-73ページ、148-155ページ	73P (30分)	148-155	2010/02/15 04:20:31
NIKI ☆☆☆	ゲーム機は弟がいるので、６４からゲームキューブからPS１～３、DS、Wiiなど基本的にすべて集めてきた。そんな中で、DSの圧倒的な強さに驚いた。また、PSとの圧倒的なソフトの数の違いに驚いた。			
	17－53	37P (30分)		2010/02/15 03:17:00
くらしく ☆☆☆☆	最近はゲームや娯楽で遊んでいても、「ここに儲かる工夫があるんだなー」とかそういうことばかりを考えます。 ソニーより任天堂派だった自分が幼い頃にただ遊んでいた64やGCが圧倒的敗北を喫していたり、それを糧にDSを作り、今圧勝しているというのは意外とともに自分の無知を知りました。 自分のよく触れるはずの世界の裏の話はやはり面白いものです。			
	1-73	73P (60分)	同	2010/02/14 17:32:53
	わくわくわくわく・・・♪ 読んでるあいだずーっとページをめくる度にわくわくしてました。			

ぶるー ☆☆☆☆☆	ゲームの自慢と言われればゲームの自慢かもしれないけど、 私はとても夢のある話だなと思いました。 任天堂みたいな会社で働きたい！			
	全部	288P (180分)	全体的におもしろい	2010/02/13 10:35:51

名無し ☆☆☆	ターゲットを変える、クオリティの向上よりも手に取りやすいもの、ある意味ユニバーサルデザイン的な。ゲームには興味ないが万事に通用する思考回路を学べる。			
	1-112	112P (75分)		2010/02/11 02:33:38

つきもち ☆☆☆☆☆	最近ゲームやってないけど無性にwiiがやりたくなりました。。 ６４、やゲームキューブとは大きく変わったWiiにはたくさんの努力、技術が詰まっていることを感じました。あえてゲームをしない人をターゲットにしたアイディアには感動です・・・			
	ぜんぶ	304P (400分)	ぱらぱら好きな場所を	2010/02/03 12:38:54

harry ☆☆☆☆	チョイ読みだけど、任天堂の偉大さだけはわかった。 任天堂製品を使う身としては、これからも新しいものを生み出し続けてほしい。			
	1～13、297～304	21P (15分)	エピローグ	2010/01/13 23:44:58

iwatobi-penguin ☆☆☆☆	ゲーム機にあまり興味ないけれども筆者の指摘には「なるほど」とうなずけるものがありました。 東工大卒の先輩にも負けないように頑張りたいという気持にもなれました。			
	1-296	296P (200分)		2010/01/11 20:34:17

ＭＩＡ！ ☆☆☆☆	私はゲームに親しみがないのでＤＳもWiiもやったことがなかったし全く興味もなかったのですが、私のようなゲームに無関心の人の心をつかんだということを知りゲームをやってみたくなりました。 任天堂がここまですごいと思わなかったです。 東工大ＯＢの方が活躍しているということも嬉しかったです。			
	1-170	170P (80分)		2009/12/25 23:33:27

トム ☆☆☆☆	小さいときからゲームに慣れ親しんできた僕にとっては、懐かしい話などもあり、とても面白かったです。岩田社長は、社長就任後すぐに、今、ゲーム市場で何が起きているのか、ということを調べることから始めました。そして、既存のゲーム市場の未来に危機感を抱き、ゲーム人口拡大戦略を掲げ、それまでになかったような新しいゲームを生み出したのです。 このような岩田社長の優れた洞察力と、その行動力には見習うべき点があると思いました。			
	全部	288P (200分)		2009/12/21 13:42:25

ぷりぷり ☆☆☆☆☆	WiiやDSの誕生に関する話がたくさんありWii保持者としてとても興味深い話ばっかりだった。Wiiは性能や画質を上げるという普通の発想とはまったく逆の性能を抑えて省エネ省スペースという発想に驚いた。 また、東工大出身の岩田社長の紹介のところで出身大学は超がつく一流と書いてありとてもいい気分になった(笑)			
	全部	288P (200分)	なし	2009/12/15 22:03:41

	任天堂を成功へと導いた、この本に登場する人たちに共通することは、「行動力」であると思う。

#30 ☆☆☆☆	彼らに限らず、世界で成功する人・世界を変える人は、どれだけ積極的に大胆に閃いたことや考えたことを行動に移せるかが、一般人とは明らかに違う。 そんなことを痛感させられる本であった。			
	全部	288P (120分)		2009/12/07 14:52:27

りょへ ☆☆☆☆☆	娯楽に徹せよ。独創的であれ。 この言葉に惹かれてこの本を取りました。正直最初読みはじめでは「なんだこの本、任天堂そんな興味ねぇし。」と思ってましたが、読み進めていくうちにどんどんページをめくるのが楽しくなってました。この本の先にあるものがしりたい、今はそんな気分です。			
	全部	304P (150分)	第六章	2009/12/06 02:29:37

@ ☆☆☆☆	任天堂のイデオロギー、戦略等がわかりやすく書かれていました。私はDSもWiiも持っていないので(やったことはあります)、そんなに世間でブームになっているとは知りませんでした。そして、DSやWiiでゲーム以外の色んなことができることも知りませんでした。 彼らの理念・素晴らしさは十分わかり、素直にすごいな、と思います。思った上での以下の感想です。この本、というよりこのジャンルの本全般について、この場を借りて… こういった、企業や人物のサクセスストーリーの本、この講義のブックリストにもたくさんありますが、このジャンルの本は、私がひねくれているせいもありますが、こういった事業の成功の話をされた後、「すごいね、それで？」というように、どうしても思ってしまうのです。 経済学の本を読んだら、勉強になり、歴史の本や、小説は、自分とかけ離れた世界の話であるから、純粋に楽しむだけで…サクセスストーリー系の本は、「へーすごいね」以上の感想はもてないのが正直なところです。 素直にすごいと思っても、なかなか私にこのようなことはできないだろうし(それはわからないと言われそうですが、実際そうでしょう)、ただただすごい、とかよかったといった感想を持つだけでよいのでしょうか… 皆さんはどのような感想を持ちますか？？			
	全部	288P (180分)		2009/12/04 21:21:53

肉 ☆☆☆☆	より高画質、より重厚なゲーム作りを目指すの普通に思えたが、逆に簡単にすることでみんなを取り込もうとする発想がすごい！ ゲームをする子どもでなく、ゲームをしないかーちゃんをターゲットにするとは！			
	7-112	106P (90分)	なし	2009/12/04 14:08:21

blue ☆☆☆☆	娯楽屋のノウハウ、枯渇した技術での水平思考といったフレーズがさらっと出てくるのは何ともおもしろいが、本当に娯楽に対して真剣であることがひしひしと伝わった。 山内さんと岩田さんは対照的に見えるのだがと前々から内心思っていたら、やっぱりそのようでした。ゲーム開発は想像を絶するほど技術的にも創造的にも大変なのに、利益以前に任天堂の人たちが楽しく集団でコミュニケーションをとりながら働いているところや、会社の風通しの良さに感心しました。 戦略もとてもおもしろかったです。			
	1-288	288P (280分)	84-156	2009/11/15 22:04:47

うろくた ☆☆☆☆☆	真っ先に手に取った本。 たぶん感動してちょっと泣いたのは僕だけだと思う。 今、行きたくてしょうがない企業です。 -任天堂を築き上げた山内溥、岩田聡、宮本茂、横井軍平とはどんな人物なのか、そして任天堂がどのようにゲーム業界における現在の地位を確立したのか。 不況の真っ最中の今、なぜ任天堂だけが爆発的なヒットを飛ばし続けているのか、などわかりやすく解説してくれています。 読みやすい本でした。任天堂にさほど興味が無い人にもオススメです。			

	288P	288P (180分)	特になし	2009/11/13 12:40:33

くま ☆☆	発想はいいと思います。 大学生にもなるとゲームはさすがに飽きるだろう。私は金ないからWiiとか買えんし、ほしいとも思わないけど。			
	all	288P (150分)	なし	2009/11/10 17:56:43

gpx ☆☆☆☆☆	ゲームに触れていない人をいかに触れさせるか。 たしかに、グラフィックとかいろいろと手間暇かけるよりかは、そっちのほうが儲かるなと思った。 発想の転換に驚いた。			
	全部	288P (240分)	185-192	2009/11/10 00:05:44

thjam ☆☆☆☆	任天堂はすごいと思った			
	10-300	291P (60分)		2009/11/05 01:17:58

ソロコフ ☆☆☆☆☆	面白くて全部読んでしまいました。ゲームは中学で卒業したつもりでしたがそういえば以前脳トレにはまっていました。ゲームと思わせない戦略にまんまとはまっていたのですね。 ﾏｲDSもっていなので買いたくなりました。			
	全部	288P (300分)		2009/11/04 23:52:19

Whatever ☆☆☆☆	京都の花札屋から世界の任天堂へ。お父さんたちが熱狂したファミコンブームから四半世紀、ゲーム世代を生み出してきた天才たちの系譜に横たわる不文律とは？成熟しつつある市場や、巨大な資金力と技術力で勝負するライバル会社を前に、アイデア一本で仕掛けて席巻してみせる彼らのエンターテイナー精神を学べます。モノ作りを強みとする日本企業の１つの成功例として、様々な教訓を提供してくれるルポだと思います。アップルと任天堂の共通点や、次世代ゲームのヒントなど、楽しい話に、読み終えた後は電気屋に向かいたくなりました。			
	全部	288P (200分)	269-304	2009/11/02 19:33:57

trick ☆☆☆☆	wiiを買わずにPS3を買った僕ですが任天堂信者になりそうです。そんな一冊。 個人的には10年越しでいまさら買ってしまった「VIRTUAL BOY」の話を聞きたかったのですが…あれはMeのごとくスルーなのでしょうか…			
	all	288P (200分)		2009/10/30 15:44:41

puzdog ☆☆☆☆☆	任天堂ユーザーとして任天堂の歴史や信念、裏話すべてが学べるこの本は神かと思った。いままで気づかなかった任天堂のゲームに対する思い入れに改めて感心した。 あとこれは個人的なことだがHALの由来に驚いた。カービィファンなもので…			
	1-100	100P (100分)		2009/10/27 12:59:33

アメフト4号 ☆☆☆☆	この一冊で任天堂のことが分かる。WiiもDSも64も持っている任天堂ユーザーとしては開発秘話などが知れて面白かった。			
	全部	304P (300分)		2009/10/25 15:41:01

	任天堂の”任天堂イズム”がよく書いてあり、とても面白かった。DS、wiiの開発までの道のり、			

アメフト３号 ☆☆☆☆☆	SONYやマイクロソフトとは違う、任天堂が大事にしていることがよくわかった。 任天堂に就職したくなる一冊です。			
	全部	288P (250分)	特になし	2009/10/19 23:11:53

フィクサー ☆☆☆☆	生活必需品は、ないと困るものだから、使い勝手が悪くても目をつむってもらえる。逆に娯楽品は少しでもわかりづらいと見捨てられてしまう。だから役に立たないモノをずっと作り続けてきた任天堂が、快適を提供する技術で負けるわけはなかった。Wiiチャンネルである「テレビの友チャンネル」は、自分が家にあるデジタル家電にずっと持っていた不満を解決してくれるものでした。TVゲームは中学で卒業してたけれど、Wiiは買っちゃおうかな・・・なんてこの本を読んでからずっと本気で思いっぱなしです。			
	1-99、139-155、162-181、269-274、284-304ページ	143P (120分)	162-173ページ	2009/10/17 21:04:33

まじ ☆☆☆	ソニーのプレステ、プレステ２の売り上げに圧倒された任天堂は”お母さん至上主義”を掲げてＷ　の開発に取り組む。ゲーマーのためのゲームではなく誰からも好かれるゲーム製作に妥協なく独創的に挑んで成功を収めた経緯が書かれている。題材のゲームをある程度知っているため非常に読みやすく、任天堂がどういう会社なのかよくわかる一冊。			
	1－181	181P (150分)		2009/10/13 08:56:07

ＴＡＫＥ2ＧＵ ☆☆☆☆	DSやWiiの誕生秘話や、何故PSPやPS3といったハイスペックなゲームより、DSやWiiの様なロースペックなゲームの方が売れたのかが、これを読めば全部分かる本。 任天堂の意地やプライドといったものが感じ取れた。 DSやWiiが好きな人は読んでみるといいかもしれない。			
	1-292	292P (150分)	41-	2009/10/10 15:54:14

TD ☆☆☆	他人と同じところで競争するのは、一見大変なようでゴールが見えているぶん簡単なこと。大変なのは、新しい目線でアイデアを探し続けることであり、それを最後までブレずに完遂できる人が成功者になれるのだという、ごく当たり前のことを再確認することができました。			
	1-280	280P (300分)	特になし	2009/10/08 14:41:48

ＴＯＰへ

貧困のない世界を創る

著者名	ムハマド・ユヌス	発行年	2008年
出版社名	早川書房	ページ数	365ページ
値段	2,000円	ISBN	4-152089441
コメント	地球上から貧困をなくす仕事。政府にも国際機関にも、NPOにも企業のCSRにも、これこれこういうわけで、この仕事はできないんです。だからこそ「ソーシャル・ビジネス」の出番なんですよ、と理詰めで静かに語りかけてくる。声高なアジテーションから程遠い、実践に裏付けられた、心にしみいるようなおだやかな語り口がとても好ましいけれど、静かすぎてとっつきにくいかも。そんなときは239ページからのヨーグルトトークのつまみ食いからどうぞ。「利益の最大化に専念する」「一次元的人間」のみを仮定していていいの？（51-2ページや82ページ） 男女の区別なく「労働者」とくくってしまっていいの？(106ページ）経済学のおおもとをゆさゆさ揺さぶる根源的な問いは、これから経済学を学ぶかたがたに必須の栄養になるはず。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
Got's ☆☆☆☆	人間科学概論の林達雄様の授業で選んだ３冊のうちの１冊。 貧困層の方へのお金を貸すために創設されたグラミン銀行。まえがきではユヌスさんとダノンの取り締まり役との掛け合いが書かれているが、これが「こんなんで企業のプロジェクトが決まってしまうのか」と思ってしまうくらい、簡潔に決まってしまう。 ユヌスさんも驚いていたが、しかし、これこそが貧困に対して、自分の利益をなげうってでも対策していきたいと思っている人間の言葉なのだなぁと少し憧れてしまいました。			
	1-83,361-379	101P (40分)	まえがき	2010/02/14 22:58:08
thjam ☆☆☆	経済的な利益と社会的な利益は究極的には両立出来ないというのが氏の主張で、社会的な利益を追求するソーシャルビジネスというモデルを提唱している。			
	全部	372P (180分)		2010/02/14 03:50:59
えむぽま ☆☆	まず誰もコメントしてないことに驚いた（笑）。途中から読んだけど文章中に多発するソーシャル・ビジネスの意味がわからなさすぎて始めから勉強しようと読みなおしました。 言ってることはなんとなくわかるが、いかんせん文章が固い。ただこの人の貧困のない世界を創るという情熱だけは伝わってきた。			
	1-53	54P (60分)	なし	2010/02/13 11:42:40

TOPへ

チェンジメーカー１・２

著者名	渡辺奈々	発行年	2005年
出版社名	日系BP社	ページ数	459ページ
値段	1,600円	ISBN	978-4822244644
コメント	女のひとが多いなあ。ひいふう……18人のうち12人。みんな笑顔がきれいだなあ。 世の中のためになる仕事。そんなのは、才能と運に恵まれたごく一部のエリートさんにしかできないさと思っていたけれど、今日び、意外とそうでもないみたい。国境なき医師団のようなシニセでなくても、いろんなNPOが生まれて、この社会の歪みを正そうと、しなやかに真剣に働いている。もしかして、その仲間たちのなかに、あなたの居場所があるかもしれない。 「地の塩」という言葉を思い出した。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
NIKI ☆☆☆☆	日本だとホームレスは公園のビニールシートのイメージでそんなに都会ですごい人数がいるイメージはないが、海外のホームレスってそんなに多いのか。 世の中には人が背けたくなるような事でも、それに向き合って良い方向に持っていこうとする人がいるからこそ、私とかが今幸せに暮らせているのかもしれない、と思った。			
	54－63	10P (10分)		2010/02/15 03:49:50

Got's ☆☆☆☆	カッコいい!!ひたすらに憧れますね。写真があるのもイメージがつかみやすくてよかったと思う。 ・ただ援助するだけではダメ。 ・ビジネスにならなくてはダメ。 この前「行列のできる法律相談所」でやっていた、アフリカの貧困地域であえて有料医療をやっている方のお話を思い出しました。 この本を読んだ後にみた番組だったんですけどね… 「無料にしてしまうとそれに頼ってしまう。それに自分達はforeverに協力していくためには、ボランティアではダメなんだ」という話だったと記憶しています。 社会企業家はその時、その時の埋め合わせにするために奉仕活動をしてるわけではなく、長い目で社会を変えていかなければならないという活動をしていて、非常に共感できた。 自分も信念を持って生きていかなきゃなぁ。 これで、ヒストリアンズの自分の読んだ本は全てになりますが、18冊…及ばず。。しかも、また、随分とため込んでしまって申し訳ないです。 読んだ本を見返してみると、「美術」「貧困」「プレゼン」この３種の本がほとんどですね。もっと色々な種類の本を読もうというコンセプトだったのに…。結局、好きもの食いになってしまいました。 みんなの感想を見直すと、読んでみたかったなぁという本もあったので、来年の歴史方法論の授業があったら、履修しているふりして、他の本も読んでみようかなぁ。なんて…			

	全部パラパラと	197P (120分)		2010/02/15 02:50:31

黒鳥 ☆☆☆☆	読んだのは　のほうだよ。。 これはとても読みやすい本でした。 あと、自分の興味があるところだけを抽出して読むことができるのもお得。。 個人的には本の「装丁」もとてもお気に入りです 本屋にあったら手に取りたくなるかな・・・おしゃれでかっけー☆ 頭の「共感力」の話。心から感動しました。今でもよーく覚えています。この本は二回借りたけど同じ本を複数回借りるのいいね 噛めば噛むほど味が出る本なのかな？ ここに、これを良本であると定義します！！			
	10-35 51-89	75P (60分)	10-35	2010/02/12 23:38:32

とんぺい ☆☆☆	「社会を変える」の人やこの本に載っているような人は学生時代から、将来起業することを考えてるのがすごいと思った。 すごいとは思うけど、正直自分の今の位置とかけ離れていて実感がわかない内容だった。			
	1-32	33P (40分)	30-32	2010/02/02 11:25:33

トム ☆☆☆☆	多くの社会起業家に共通していることは、公的な援助には頼っていないことである。ほとんどが民間の寄付によって資金を調達しており、それによって自由な活動ができるのだそう。 駒崎さんの本にあった「補助金のジレンマ」という話を思い出しました。日本でもこのような人たちがたくさん出てきて社会を変えていってほしいですね。			
	6-103, 184-196	111P (150分)		2010/01/11 15:54:56

ソロコフ ☆☆☆☆	前回読んだ「社会を変えるを仕事にする」にはまり、その本の最後に参考図書が書かれてあり、そこにこのﾁｪﾝｼﾞﾒｰｶｰが挙がっていたので迷わずこの本を選びました。この本に出てくる一人のデビッド・グリーンという人は大学生のころに、これからの一生を金儲けに使うか、社会改革に使うか考え後者を選択した。果たして自分はどっちを選ぶのだろうか、この先の進路を考えるうえでよく考えていきたい。			
	1-124	124P (100分)		2009/12/10 21:42:36

くま ☆☆☆	立ち読みポイントに描かれてることがきつかった。うん。			
	全部	195P (180分)	91	2009/11/16 00:15:34

Whatever ☆☆☆☆☆	社会の中で「これ、おかしいな」と思うことがあった時、 僕らはどういう行動をとるだろう。 多くの人は素通りするかもしれない。 ある人は声を大きくして反発するだろう。 ある人は献身的にボランティアをするだろう。 状況によって行動は様々だ。 しかし、本気で社会を変えようと思ったとき、 気持ちだけで正面から立ち向かうだけでは解決しないことだってある。 そこに「システム」を見出して、 ビジネスの力で社会を変えてやろうという新しいアプローチ。 この本で紹介されている18人の「チェンジ・メーカー」は そんな新しいビジネスモデルの先駆者たちである。 起業して株式上場、豪華な高層マンションに高級車・・・ そんなベンチャーにありがちなサクセスストーリーとはちょっと縁のない世界。 けれども彼らは自分の「生きがい」を仕事にしている。 写真家である著者が切り取った彼らの笑顔は、だから魅力的なのだ。			

	自分の「気付き」は何だろう。何のために働きたいだろう。 著者の言うように、1人のささいな気付きから、社会は良い方向に向かうことがある。 就職する前に、一度は読んでいい本だと思う。そういう意味で☆☆☆☆☆			
	全部	220P (180分)	最後の解説とエピローグ	2009/11/09 02:40:51

ＭＩＡ！ ☆☆☆☆	社会の弱者にただ手を差し伸べるだけでは社会問題は解決しない。 だからこそ上手い手立てを考え、それをビジネスとして確立させて様々な社会問題に立ち向かわなければならない。 強い信念の下、素晴らしい活躍をしているカッコいい人が世界中に沢山いることを知って感激しました！！ 視野が広がりました！			
	全部	197P (130分)		2009/10/21 00:25:39

@ ☆	どの人も、「今のままではいけない、社会を変えなければいけない」という信念を持って、行動を起こしているのはすごいと思う。ただ、私個人的に、このように「この人すごいでしょ」みたいな話を延々とされるのが苦手なので、たくさん読むことはできませんでした。			
	1の6-9P、44-53P、64-73P、124-128P、144-153P	39P (60分)		2009/10/12 21:14:25

ＴＯＰへ